

平成 23 年度 修正事業計画書

(平成 23 年 3 月 1 日から平成 24 年 2 月 29 日まで)

①会員の研究発表会，学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 号）

- ・第 111 回日本外科学会定期学術集会を下記のとおり行う。

⇒紙上開催とする。

~~日時 平成 23 年 5 月 26 日～28 日~~

~~場所 東京国際フォーラム（東京都）~~

~~参加予定者数 12,000 名~~ 演題数 2,479 題

テーマ 「明日の外科を確かなものに -Reinventing Surgery for Tomorrow-」

- ・第 79 回卒後教育セミナー

⇒紙上開催とする。

~~日時 平成 23 年 5 月 28 日~~

~~場所 東京国際フォーラム（東京都）~~ 参加者数 ~~1,000 名~~

テーマ 「胸腹部の低侵襲（内視鏡）手術の現状」

- ・第 80 回卒後教育セミナー

日時 平成 23 年 11 月 19 日

場所 京王プラザホテル（東京都） 参加者数 800 名

テーマ 「外傷外科」

- ・第 19 回生涯教育セミナー

テーマ 「機能温存手術の適応と限界」

（北海道地区）

日時 平成 24 年 2 月 11 日

場所 札幌市内 参加者予定数 100 名

（東北地区）

日時 平成 23 年 9 月 17 日

場所 盛岡市内 参加予定者数 100 名

（関東地区）

日時 平成 24 年 2 月 4 日

場所 東京都内 参加予定者数 100 名

（中部地区）

日時 平成 23 年 4 月 10 日

場所 名古屋市内 参加予定者数 100 名

（近畿地区）

日時 平成 23 年 6 月 4 日

場所 大阪市内 参加予定者数 100 名

(中国四国地区)

日時 平成 23 年 9 月 2 日

場所 広島市内 参加予定者数 100 名

(九州地区)

日時 平成 23 年 5 月 21 日

場所 宮崎市内 参加者数 100 名

②機関誌，論文図書等の刊行（定款第 4 条第 2 号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成 23 年 3 月 10 日	112	臨時増刊 1	38,000
<u>⇒臨時増刊 1 は「第 111 回定期学術集会日程号」のため、発行中止</u>			
平成 23 年 3 月 15 日	112	2	38,000
平成 23 年 4 月 15 日	112	臨時増刊 2	38,000
<u>⇒臨時増刊 1+2「第 111 回定期学術集会抄録集」として 38,000 部を発行</u>			
平成 23 年 5 月 1 日	112	3	38,000
平成 23 年 7 月 1 日	112	4	38,000
平成 23 年 8 月 15 日	112	臨時増刊 3	38,000
平成 23 年 9 月 1 日	112	5	38,000
平成 23 年 11 月 1 日	112	6	38,000
平成 24 年 1 月 1 日	113	1	38,000
平成 24 年 2 月 15 日	113	臨時増刊 1	38,000

- ・ Official Journal 「Surgery Today」を下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成 23 年 3 月 1 日	41	3	40,000
平成 23 年 4 月 1 日	41	4	40,000
平成 23 年 5 月 1 日	41	5	40,000
平成 23 年 6 月 1 日	41	6	40,000
平成 23 年 7 月 1 日	41	7	40,000
平成 23 年 8 月 1 日	41	8	40,000
平成 23 年 9 月 1 日	41	9	40,000
平成 23 年 10 月 1 日	41	10	40,000
平成 23 年 11 月 1 日	41	11	40,000
平成 23 年 12 月 1 日	41	12	40,000
平成 24 年 1 月 1 日	42	1	40,000
平成 24 年 2 月 1 日	42	2	40,000

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）

- ・ドイツ外科学会，American College of Surgeons（ACS），Society of University Surgeons（SUS）と若手外科医の交換交流を行い，International Federation of Surgical Colleges（IFSC）の加盟を継続する．
- ・日本医学会，外科系学会社会保険委員会連合（外保連），日本専門医制評価・認定機構，日本医療機能評価機構，日本女性外科医会の活動に積極的に参画する．
- ・外科系14学会と外科関連学会協議会を組織して，外科系の横断的な諸問題を協働で検討する．

④外科学及びこれに関する医療制度の資料の収集並びに研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集を行い，その結果を元に関係官庁などに要望書を提出する．
- ・日本医療安全調査機構に参加し，死因の調査分析事業に協力する．
- ・National Clinical Database（NCD）に参加し，外科症例登録のデータベース事業に協力する．
- ・「チーム医療推進会議」に協力し，特定看護師（仮称）に関する制度の創設を図る．
- ・「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン」の運用を図る．

~~・広報活動として，第38回市民講座を下記のとおり行い，インターネット上で配信する。~~

~~⇒第111回定期学術集会の紙上開催に伴い，中止とする。~~

~~日時 平成23年5月29日~~

~~場所 東京国際フォーラム（東京都）~~

~~テーマ 「ちょっと先生！—外科医に聴きたいことあれこれ—」~~

⑤優秀な業績の表彰（定款第4条第5号）

- ・第18回研究奨励賞を表彰する（5名）．
- ~~・第111回定期学術集会のビデオ演題のうち，優秀な10演題をビデオライブラリーに掲載して，制作補助費を支給する。~~

~~⇒第111回定期学術集会の紙上開催に伴い，中止とする。~~

⑥外科学に関する研究及び調査（定款第4条第6号）

- ・外科専門医制度に則り，外科専門医を認定し，指導医を選定し，認定登録医を登録し，指定施設と関連施設を指定する．
- ・標準手術ビデオを5本作成して，ビデオライブラリーに掲載する．
- ・初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同ラン

ダム化並行群間比較試験を行う（厚労科研事業）。

- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」を公表し，該当者から利益相反自己申告書を回収する。

・~~第9回臨床研究セミナー~~

~~日時—平成23年5月27日~~

~~場所—東京国際フォーラム（東京都）—参加者数—約200名~~

~~⇒第111回定期学術集会の紙上開催に伴い、中止とする（来年に開催持ち越し）。~~

⑦その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第7号）

- ・公益法人制度改革に伴い，定款変更を行って，一般社団法人への移行認可を申請する。